



共創

NO 8 (11月号)

令和4年11月4日発行

学校と家庭をつなぐ「連絡ノート」に、こんな保護者の方からの言葉がありました。

計算のカード、はりきって取り組んだものの、
スピードを気にしたのか、パッと答えてまちがえる連続で。
終わった後、「速かった？」と聞くのですが、
「速いけど、ほとんどまちがえていたじゃ〜ん。」と言うと、
「でもさあ、たくさんまちがえると上手になるんだよ♪」
と前向きな返事が返ってきて、笑ってしまいました😊



何てすてきな言葉でしょう。そして、何てすてきな受け止め方でしょう。

「失敗は悪いことじゃない。むしろ成長できるチャンス！」と、失敗することに不安を感じさせない環境があること。それが、どれほど子どもの「心的安全状態」(周囲の反応を気にしないで、市全体の自分を表現できる環境)を生むことでしょう。心的安全状態にある子どもには、自分から色々なことに挑戦しようとする主体性や好奇心がぐんぐん育ちます。

そんな子どもの「心的安全状態」をつくるためには、2つの手立てがあります。

♥子どもの自由意志を尊重して、否定しない環境を用意すること。

「失敗してもOK!」「人と違ってOK!」

♥子供たちの脳を「心的安全状態をつくりやすい脳」に変えてあげること。

「人はみんな自分とは違うもの。自分の都合の良いことばかりじゃない」

「大切なことは、都合が悪いことが起きた時に、どうするかだよ」と、

感情をコントロールするためのアドバイスをすること。

失敗することや、自分が予期していない状況が生じると、誰もがストレスを感じます。大切なのは、そのストレスにどう反応するのかということです。イライラしたり、あるいはくよくよしたりするなど、マイナスの反応するのか。それとも、「失敗しても大丈夫」「どうしたら問題が解決できるかな」とプラスの反応をするのか。つまり、どのように自分の感情をコントロールするのかが問題となるわけです。できれば、プラスの反応が出来るようになりたい。そのためには、

☆「失敗することは悪いことじゃない」と言い続けること。

子どもは本来、挑戦意欲が旺盛です。失敗を気にしないものです。その挑戦意欲を削いでしまうのは、何気ない大人の声かけです。

☆結果だけでなく、そこまでのプロセス(過程)をうんと褒めること。

順位や勝ち負けを褒めると、自分の価値を人との比較で考えるようになります。

子どもの工夫や試行錯誤をほめること。「がんばったね」「次はがんばろうね」だけでなく、「何が良かったのか」具体的に褒めてあげることが大切です。

ストレスを克服するためには、我慢強さや忍耐強さが必要だとよく言いますが、そうではありません。マイナスをどうプラスにするのか、そうした柔軟な思考や、しなやかな心が大切なのです。失敗を成功に変える経験の積み重ねが、「自分には出来る」という本当の自信にもなっていくのです。

(校長 小林 正宣 *参考文献「非常識な教え」工藤勇一著)

🍎🍌🍇🍓🍑🍊🍋🍒🍓 11・12月の行事予定 🌈🌈🌈🌈🌈🌈🌈🌈🌈

日	曜	校内行事
11/1	火	6年修学旅行 5年南極教室 3年手もみ茶体験教室
2	水	6年修学旅行 5年アースキッズチャレンジ開始
4	金	5年食に関する指導 6年4時間
7	月	参観懇談会 2.4年
8	火	読み聞かせ 参観懇談会 3.5年 PTA 本部役員選考委員会 16:10
11	金	参観懇談会 1.6年えがお 家庭教育学級
14	月	クラブ⑤(3年クラブ見学) スクールカウンセラー来校日
15	火	避難訓練(火災)
16	水	学校創立記念事業(ドローン空撮)
17	木	1年食に関する指導 4年認知症サポーター講座 6年エスパルス選手との交流
18	金	6年学校保健委員会
21	月	クラブ⑥
22	火	4・5・6年オーケストラ音楽鑑賞会 3年スエン(木材会社)見学
24	木	6年ドローンプログラミング講座
28	月	委員会 スクールカウンセラー来校日 PTA 広報部 18:00
29	火	読み聞かせ 全校音楽コンサート鑑賞

日	曜	校内行事
12/2	金	5年アースキッズチャレンジ終了
5	月	6年食に関する指導
7	水	4年特別支援学校交流
12	月	5年2組こころの劇場
13	火	読み聞かせ PTA アルミ缶回収
14	水	4年特別支援学校交流 5年1組こころの劇場
16	金	5年3組こころの劇場 4年食に関する指導
19	月	教育相談(希望者)
20	火	教育相談(希望者) エコキャップ回収
23	金	特4 冬休みを迎える会
24	土	冬期休業 ~1/5まで
29	木	閉庁日
30	金	閉庁日
31	土	閉庁日



後期始業式・代表委員会

後期106日が始まりました。後期は重点目標「あたたかな言葉で伝え合い、つながろう！」の子供たちの「伝え合い」から子供たちが「つながる」ように学習活動を展開していきます。校長先生から『『すきなこと にがてなこと』 新井洋行 作、嶽まいこ 絵』の朗読を聞きました。自分が苦手なことで他の人にとっては得意なこともあり、得意な人が苦手な子のフォローをすることで、みんながつながり、六合小学校がもっと楽しくなるのお話を聞きました。

そして早速、児童会が「六合小をよりよくしよう」と動き始めました。代表委員会を開き、各学級から「あいさつをもっと広めたら、みんなが気持ちよくなる」や「ろうかは歩けば他の人に迷惑をかけない」など、他の人のことを思いやる意見が多く出されました。学校生活を基に、様々な人の立場を尊重し、公共の場での節度ある行動につながるようになりたいです。

5年生は宿泊体験学習、6年生は修学旅行で実践です。様々な場面で様々な人たちとつながる体験から学びます。



5年生自然体験教室

三ヶ日 青少年の家に1泊2日で体験学習をしてきました。ウォークラリーで知らない土地で地図を頼りに散策したり、カッターで浜名湖へ漕ぎ出したりしました。「全力・協力・行動力」を合い言葉に、仲間と知に活動する楽しさを味わってきました。

子供たちがすべての活動に力一杯取り組む姿が見られ、とても嬉しく思います。



11月から、3年生以上の子供たちの宿題や予定の確認はタブレットを利用します。そのため、タブレットを持ち帰る子もいます。学年ごと持ち帰る日、利用方法は異なりますので、学年だより等でご確認ください。子ども達には Web学習のスタディーサプリや e ライブラリ、タイピング練習などの利用を勧めています

